

## これでいいのか、日本語教育の実態！！ 専門学校・集合学習者ほど合格率が低いのはなぜ？

ことばの研究社  
TEL 086-486-1742  
FAX 086-486-1744  
kotoba ken@yahoo.co.jp

- ※ 最近、弊社には大都市にある施設からの問い合わせが多くなった。その内容は、専門学校に多人数を入学させているが、教育効果が見られず、また、国家試験受験をしても合格者が出ずに困惑しているというものだった。
- ※ 長年受け入れているが、合格しても定着せず戦力になっていない等々。本当に人材不足で困っている声だった。

- ※ 一方、地方の施設からは人材確保のために、外国人雇用を促進させ、日本語教育を全面に出し、施設の特徴を地域社会で表そうとしている所もある。
- ※ しかし、単なる教育をするのではなく、実質的に効果のある教育をするため、弊社に問合せがきた。この二例は、新しい動きだと捉えている。

### I、【大都市の合格率が低い理由はこれ！】

#### A、「なぜ、日本語能力が身につかない？」

- 私達が学んできた学校教育の授業形態を思い出してほしい。教師と学習者の発話量はどちらが多かったか。学校形態の教育は、教師発話が多く、一方向の授業となっているのが実態だ。専門学校・集合学習の多人数型は、教師発話が9割、学習者発話は1割が多い。大都市の施設の多くが、専門学校・集合学習の本当の実態を知らずに受けさせている。
- 専門学校・集合学習では、同国人同士での母国語の会話が多くなり、日本語での会話をする意欲が萎えて、職場でも日本語の会話が面倒に感じるようになる傾向がある。

#### B、「なぜ、合格率が低い？」

- 合格率を問うより受験能力があるかを見極めることが大切だ。即ち、試験問題は読解力がないと絶対に合格はできない。また、振り仮名つき問題を選んでも、漢字の意味が分からないのでは、正しく解答を選ぶことはできない。この二点のことを認識して、受験能力を養い、受験させることが重要で、合格への道だ。
- 専門学校での日本語教育の実態をどれだけの人々が理解しているだろうか。あるいは、見学したことがある人はどれ程いるのだろうか。一度でも良いから授業を見学することが、合格への道となることを知してほしい。

#### C、「なぜ、自学能力が育たない？」

- 専門学校・集合学習の日本語教育は、言葉を説明する場だと考えても間違いではない。そのために、「自学の仕方や学習意欲の維持の仕方など」を教える場ではないと言える。
- 特に、漢字熟語が多く用いられる専門用語、並びに知識では、漢字を暗記する指導が中心で、語彙理解をする指導ではない。そのため、熟語漢字に対する学習者の嫌気が募り、自分で理解する意欲をなくしてしまう原因となる。
- 結果的に、専門用語・知識の領域では「覚えるしかない」という意識が強く、日本語に対する嫌悪感すら持つようになる。そして、受験しても意味が分からない問題に対して、根拠もなく、記号並びに番号を選ぶ解答となる。それ故、合格率が低くなる最も大きな要因となっている。

### II、【どちらの教育方法が合格率が高いのか？ 外国人の日本語教育は根本的に違いがある！】

#### A、【専門学校・集合学習は日本人向け教育】

- 【技能】読む → 書く → 聞く → 話す の順序で学ぶ。  
【結果】読む・書く中心で使える能力が身につかない。  
【理由】1. 教師主導の「覚えさせる教育」で、学習者の発話や考えが引き出せない。だから、知的満足度が高まらず学習意欲が持続できない。  
2. 複数の同国人が集まるために、母語を使った会話が多くなり、日本語力が高まらない。
- ※※ 対訳した英語教育と同じで、教科書「を」教える教師主導型の一方的な教育なので、受動的になる。

#### B、【ことばの研究社の日本語教育は外国人向け教育】

- 【技能】聞く → 話す → 読む → 書く の順序で学ぶ。  
【結果】四つの基本技能が並行的に身につく。  
【理由】双方向で「理解させる教育」だから、学習者の発話や考えが引き出せる。そのために、知的満足度が高まり、学習意欲も同時に高まる。
- ※※ 子供が言語を習得する過程に沿って、教科書「で」教える双方向教育なので、能動的になる。

### III、【本当の日本語力を見極めることが大切！】

#### 【「読む・書く」中心の教育なのに！！】

- 専門学校・集合学習の教育は、【技能】が「読む→書く」の順序なのに、なぜ日本語力がないという疑問が湧くのだろうか？ 学習者に聞いても「日本語の先生の話しが分からない」という声が非常に多い。
- 書く力を確認するためには、次のことが大切だ。
  1. 学習者の学習ノートを一度、見る
  2. 業務のメモを見る
- ※ 母語で書いていれば、学習者の頭の中は対訳しているので、いつまでたっても「文を読めるようにはならない」し、「文を書けるようにはならない」ので、要注意が必要！！
- ※ 簡単な会話ができるから、職員の多くは「日本語は大丈夫」と間違った判断をしている人がとても多い。表面的な会話だけで判断をすれば、実務能力はいつまでたっても身につかない原因となる。

## 「現場の本音」が経営者の考え方を変える 目指せ！負担をなくす学習環境を

### トライアルレッスンを受けた施設の声！

- 日本語学校に半年通っている人が二名いる。毎日、勉強しているにも関わらず、初めて会った時から全く日本語力に変化がない。アルバイトで働いているが、いつも同じことしかできないので仕事はすぐ終わってしまう。
- 色々と仕事を任せたくても、日本語力がないので、任せられない。結局、単純作業しか任せられないので、何のための人員なのかとってしまうことがある。やはり、最低限の日本語力がないと勤まらないと感じた。

#### 【参加者二名の声を聞き取った！！】

- 1、日本語学校では「みんなの日本語」のテキストを使って勉強している。テキストが難しく、分からない。
- 2、学校の先生が話す日本語が分からない。
- 3、「これ・それ・あれ」を教えてもらったことを覚えている。でも、違いが分からないから、どうやって使うか分からない。
- 4、ひらがな文字は全部読めて書ける。カタカナ文字は少し分からないから、書けない。
- 5、漢字が難しいので、日本語は難しい。

#### 【トライアルレッスン後の参加者の感想】

- 今日の勉強は、日本語だけで考えることができた。だから、先生の日本語はよく分かった。授業は90%理解できた。
- 言葉が易しいから分かった。テキストが全部ひらがな文字だから読めた。勉強の仕方を習ったから一人でも勉強できると思った。



### 当該施設の理事長の声！！

- トライアルレッスンの報告を読んで、参考になった。受け入れた当初から日本語力の低さには気付いていた。このままでは、日本語学校を終了しても、専門学校に入れるかなと思うレベルだった。本人達に学校の授業が理解できているかを直接聞いたところ、理解ができていないとの回答だった。報告書通りの反応だった。
- 当初は、もう帰国しても仕方ないと諦めていたが、将来のある若い人達で、受け入れたからには何とかしないとイケないと考え、学校に通いながら施設ではアルバイトの時間で、私が日本語を少し教えるようにした。

(千葉県・T施設)

### トライアルレッスンを受けた施設の声！

- 専門学校を卒業した元留学生3名が職員になって働いている。5年間日本にいますが、国家試験には合格できていない。一人は、話はある程度でき、利用者対応も任せているが、日本語文が書けないので介護日誌が書けない。また、業務前に皆が目を通す資料も読めていないことが分かる。
- もう一人は、日本語が本当に通じず、現場での意思疎通ができないため、職員が対応に苦労している。他にも外国人職員はいるが、皆、定着を希望しているので、是非、戦力にしたい。日本語力を高めて、現場の負担が軽減できれば本当に助かるのだが。

#### 【参加者二名の声を聞き取った！！】

- 1、専門学校の先生の日本語が分からなかった。
- 2、日本語の文法が難しい。勉強しても分からなかった。すぐに忘れてしまった。
- 3、言葉を覚えても、話せない。文が作れない。文を読めないし、書けないから、介護日誌を書きたくても、書けないことが悩みだ。
- 4、漢字は嫌いではないけれど、読むことと書くことが難しい。覚えてもすぐ忘れてしまう。
- 5、日本語をもっと上手になりたいけれど、どうしたらいいのか分からない。
- 6、利用者さんともっと話をしたいが話せない。

#### 【トライアルレッスン後の参加者の感想】

- 言葉を沢山覚えたのに、どうやって日本語の文を作ればいいのか全然分からなかった。でも、先生が教えてくれた4つの「文型」だけで文で話すことができた。こんな勉強したことがなかった。
- テキストは全部日本語だけだけど、漢字は前の行で、ひらがなで書いているから読めた。テキストが易しい。私は書くことができないので、書けるようになりたい。トライアルレッスンの勉強は100%理解できた。



### 当該施設職員の感想と施設長の思い！！

- トライアルレッスンの報告を読んで参考になった。現場が感じている通りの評価で納得。日本人と同じ給料を支払っているのに、業務内容に差があると、この先、職員間でも摩擦が起きる可能性もある。
- 施設長にも全て報告し、結果を読んで、専門家の力を借りて、教育をしないとイケないと本気で検討している。

(茨城県・A施設)

## 施設の声

### 教師に丸投げ教育の結果が……！！

- EPA 候補者を受け入れた時は、日本語学校の紹介でその学校の日本語教師が施設に来て週一回指導をしていた。その人は国家試験に合格はできたが、「既に合格前から帰国する意思を表していた」ので、定着はできなかった。
- 月報 12 月号 (119 号)「日本語教師・学校の教育効果」の記事通り、帰国した候補者の日本語は、職員が見ても向上の変化を感じることは、正直無かった。原因は、本人のやる気次第なのかと、勝手に思い込んでいた。だから、教師の教え方などの問題点は考えることもなく、授業を見ることがせず、教師にお任せ状態だった。
- この一件から、EPA は学習時間を取って、合格できても定着が見込めないと分かったので、今後は受け入れすることを止めた。しかし、人手不足のため、新たに特定技能実習生を受け入れることになり、費用はかかるが、監理団体二社と契約をした。その際、日本語教育をつけなかったため、少し不安もあった。だが、【月報】も読み、必要であれば施設で日本語教師を見極め指導を依頼する方が良いなと考えた。(千葉県・U 施設)

### 試験問題の質問が多くて混乱！！

- EPA 候補者はよく勉強していて、会話は困らずできるようになってきていると感じている。業務中での問題点も現場から上がってこないのて上手く回っているものと、判断している。
- ただ、受験対策の時に、「振り仮名つきの問題文は読めるけれど、その文の意味が分からないので、教えてほしい」という声は、現場職員に多く寄せられているという報告がある。月報 12 月号の「現場と管理者の声」にあったように「人数が増えれば、現場の負担が増す」という声がある。
- 業務上だけではなく、学習面でも現場の負担になることが多く感じる。なぜなら、職員が外国人に専門知識を教えることは大変な労力があるからだ。専門用語を教えるのは、教え方が分からないから大変なのだ。(東京都・K 施設)

### 【外国人対応レクチャー(1 時間)のメリット】

- 1、無料でできる
- 2、好きな時間にできる
- 3、多人数でもできる
- 4、双方向で相談ができる
- 5、学習指導の参考になる
- 6、業務指示に役立てられる

【問合せ先】メール:kotoba\_ken@yahoo.co.jp

TEL : 086-486-1742



### ★★ 無料！教育相談を受けて「得」した施設 ★★

- ※ 外国人対応に問題が多い施設から教育相談の希望者が増加しています。その理由は、1 時間の相談で外国人対応の考え方が大きく変化し、職場の雰囲気にも変化を起こしたからです。
- ※ 外部からの指摘は、職場に変化を起こします。その結果、人的・財政的に「得」をもたらします。ご希望の施設は是非、ご利用下さい。

### 日本語能力試験の資格は信用できない！

- 数年前に特定技能を受入れたことがあった。その人は既に N1 取得者だったため、受け入れたら日本語も困らず対応できるだろうと期待を持っていた。N1 取得者は、介護業界では滅多にいないので、施設側にとっては嬉しい話だった。しかし、業務を見ていると、正確な意思伝達ができていないことが多かった。さらに、介護記録をまっとうに書けない状態だった。そのため、現場職員の負担はとて大きく、混乱した。
- 外国人受け入れについて、近隣の施設と意見交換をすることが多々ある。その時は決まって、日本語能力試験の話が出てくる。「N3, 2 取得しているからそれなりによくできる」「N3 を取れていないから話が通じない」とかいう反応があるが、私自身、そうは正直思っていない。経験上、日本語能力試験は、判断基準にはならないことを知っているからだ。
- 多くの施設の方に言いたい。その人の能力をしっかり見極めることが大切で、N3 でも N2・N1 でも業務記録を書けなければ困るという姿勢が重要だ。日本語を正しく使えて、利用者対応ができなければ、事故に繋がりがかねないからだ。
- 外国人採用をする時に、面接だけではなく、簡単なテーマを出して、筆記試験・作文を書かせることがいいと思う。一度採用したら、施設の人件費は膨らむし、簡単には解雇できないから、慎重になるべきだ。(東京都・I 施設)

### 人数が増えて現場は混乱！！

- EPA 以外にも特定技能の在籍が増えてきている。「人数が増えれば現場の負担」は正直増える。そして、日本語力は人によって差があるので、現場は大変苦労している。
- EPA 候補者には学習時間をとっているが、それ以外の人には取らせていない。各人に任せているのでどんな学習をしているのかが分からない。学習の仕方に悩んでいる人もいるが、施設としては把握していないのが、正直な所だ。
- 今後も受け入れは続くので、現場が困らないような日本語力にしないといけないと思っているが、具体的な策が考えつかないので、困っている。(神奈川県・R 施設)

# 教育方法の損得比較表

★ 弊社に施設・病院の担当者から教育効果の問い合わせが多く寄せられているために、弊社の「教育方法」と現在採用している教育とを比較して説明している。

★ これを機会に、受入れ機関の「得する教育方法」を下記の比較表で、分かりやすく説明する。「得する教育方法」を正しく選択して欲しい。

| 比較対象            | 日本語教師・学校                            | ことばの研究社                                   | 比較の結果                                                       |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 教材              | 対訳本                                 | 対訳がなく日本語だけ                                | 日本語だけの学習は<br>職場で即戦力となる                                      |
| 教材の効果           | 成文で話せない<br>書く力育たない                  | 成文で話せる<br>書く力が身につく                        | 自学能力がつくため、<br>現場指導が理解できる                                    |
| 授業形態            | 対面で一方向が多い<br>教師中心型で、<br>発話が少ない      | ZOOM で双方向の授業<br>学習者中心型で、<br>発話が多い         | 学習意欲が湧き、<br>自発的な行動が取れる                                      |
| 授業内容            | 教師の発話が 90%<br>学習者の発話が 10%           | 教師の発話が 40%<br>学習者の発話が 60%                 | 学習者の発話が多い<br>意志表現能力が向上                                      |
| 授業の効果           | 長期間学習でも変化なし<br>疑問点すら分からない           | 1回で変化を体感できる<br>3回で日本語力が向上                 | 日本語力に自信を持ち、<br>他者との意志疎通が強まる                                 |
| 学習者への<br>アフターケア | 特になし                                | LINE を使って質問ができ、<br>日本語文でやり取りが<br>できる      | 授業予約を学習者が行える<br>ので、職員の手間がいない<br>LINE の文を添削するため、構<br>文力が向上する |
| 職員への<br>アフターケア  | 授業後の報告がない<br>あるいは、月単位でまとめ<br>て報告が多い | 毎回授業直後、授業内容と<br>指導方法を報告するので、<br>現場と一体化できる | 学習者の状況や言語能力の<br>変化を把握でき、現場指導に<br>反映できる                      |
| 国家試験<br>合格率     | 約 45%                               | 70%                                       | 専門用語・知識を基礎段階で<br>養うから、合格率が高い                                |
| 定着率             | 途中帰国と合格後の移動<br>が多い                  | 90%以上 定着                                  | 後輩の育成に日本語力を活<br>かして、リーダーとして活躍                               |



分かったようで、分からない教育を  
受けた人は、実務能力がない人



理解できて、使える教育を受けた人は、  
実務能力がある人

あなたが人財育成を考える時  
どちらの教育方法を選ぶ？

〒710-0011  
岡山県倉敷市徳芳 841  
ことばの研究社  
電話: 086-486-1742  
FAX: 086-486-1744  
Mail: [kotoba\\_ken@yahoo.co.jp](mailto:kotoba_ken@yahoo.co.jp)